

# 週 報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 8 年 1 月 20 日

UNITE  
FOR  
GOOD

## 豊中ロータリークラブ

第 3064 例会  
第 2658 号

よいことのために  
手を取り合おう

2025~26 年度  
国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツォ  
(イタリア、ラグーザ RC)

Rotary  
Toyonaka



2025.7~2026.6  
会長 松本 悟  
副会長 矢口正登  
幹事 藤田充男  
雑誌・広報・会報委員長  
都井正剛

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

本日 (1 月 20 日) のプログラム

「職業奉仕月間に因んで」  
職業奉仕委員長：松山辰男  
～職業奉仕フォーラム～



次回 (2 月 3 日) のプログラム

「2025 年規定審議会について」  
2016-17 年度ガバナー  
松本 進也様 (大阪北 RC)

### ◆会長の時間◆

#### 「診療報酬改定」

2025-26 年度 会長 松本 悟

今年の春に「診療報酬改定」があります。

医療における 2 年ごとの公定価格の改定です。病院や診療所では、保険で定められた医療を提供すると、この公定価格で定められた額を請求することができます。

病院や診療所では、これが唯一の収入源で、診療で必要となる材料費や人件費、その他、光熱費や修繕費、さらには新築費用も捻出しなければなりません。最近は人材不足なので、利用せざるを得ない人材紹介業者への仲介料も負担となってきます。

ご存知の方もおられると思いますが、多くの病院では、昨今の物価高騰の影響で、赤字状態に陥っています。昨年夏頃に出版された週刊誌には、全国の公立病院の赤字ランキングが掲載されていました。第 1 位は、東京都の多摩総合医療センターで約 90 億円の赤字でした。市立豊中病院は 22 億円の 90 位で、この豊能圏域の公立病院でも、すべて億単位の赤字経営になっているようです。

数年前までは、この診療報酬改定は、物価の上昇に合わせて、数%ずつアップしていたようですが、この十数年はさほどアップなく経過してきました。最近の物価上昇や、コロナでの補助金もなくなったことが影響し、医療・介護業界はエライことになっています。

昨年末、政府は、この春の診療報酬改定で「薬価」部分を除いた「本体」部分を、約 3% 引き上げると発表しました。「本体」部分の改定率が 3% を超えるのは 30 年ぶりという、久々の大幅アップ改定です。非常に喜ばしいことなのですが、他業種のアップ率からすると物足りないものでした。これから細部の価格が決定されてゆくので、少しでも有難い決定を期待して注視してゆきたいと思います。

あまり関心のない方々も多いと思いますが、少しでも目を向けて頂き、医療・介護業界にエールを送って頂ければ幸いです。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内  
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例会日時：毎週火曜日 12 時 30 分より  
事務局：9 時～15 時 (土日祝を除く)

HP アドレス：<https://toyonaka-rc.jp>

メールアドレス：[jtrc2660@sun-inet.or.jp](mailto:jtrc2660@sun-inet.or.jp)

## ☆出席報告☆

	第3063回	第3060回
例会日	1月10日	12月2日
① 会員数 A (内出席免除者)	27 6	27 6
② 出席義務者数	21	21
③ 出席義務者出席数	13	14
④ 出席免除者出席数	4	2
⑤ メイクアップ数		1
⑥ 出席義務者欠席数	8	7
出席率 %	68.00%	73.91%

出席率(3063回)  $3+4$  /  $2+4$  出席率(3060回)  $3+4+5$  /  $2+4$

## 幹事報告 1

- ・国際ロータリー第 2660 地区より  
「【重要・再送】地区チーム・ラーニングセミナーのご案内」が届きました。
  - 「文庫通信のご案内」が届きました。
  - 「SNS 運用力アップ オンラインセミナー 参加者募集のご案内」が届きました。
  - 「地区チーム・ラーニングセミナーのご案内」が届きました。
  - 「2026 年国際大会 日本人親善朝食会 締切の案内」が届きました。
  - 「ロータリーの友 1 月号 推奨記事と関連記事のご紹介」が届きました。
  - 「ガバナー月信 1 月号(米山 ロータリーとポリオ学習会 レポート掲載のお知らせ)」が届きました。
  - 「【第 2660 地区】 2026 年新年のご挨拶」が届きました。

## ● 揭 示 板 ●

- ・**職業奉仕フォーラム**  
日 時：2026年1月20日（火） 例会終了後  
場 所：ホテルアイボリー例会場
  - ・**地区R財団補助金管理セミナー**  
日 時：2026年1月24日（土） 14:00～17:00  
場 所：YMCA国際文化センター
  - ・**第8回定例理事会・第3回被選理事会**  
日 時：2026年2月3日（火） 例会終了後  
場 所：ホテルアイボリー例会場
  - ・**第4回IM第1組会長・幹事会**  
日 時：2026年2月3日（火） 16:00～18:00  
場 所：リツツカールトン大阪
  - ・**2025年度米山奨学生終了式・歓送会**  
日 時：2026年2月21日（土） 17:00～20:00  
場 所：シェラトン都ホテル大阪

## 1月 10 日のニコニコ箱報告

- ・新年あけましておめでとうございます。  
岡本忠志様、船山尊代様、中藤 紫様  
町田けあき様、田中美香様、南出好永様  
京 佳栄様、バストラスミタ様、エムレ様

- ・新年あけましておめでとうございます。  
木村正治名誉会員、豊島、村司、米田、矢野  
矢口、横田、武枝、眞下、志水、宮田、岩本  
田畠、松本、藤田、古澤、矢吹各会員

## 新年のご挨拶

## 国際ロータリー第 2660 地区

ガバナー 吉川健之様  
ガバナーエレクト 横田 孝久様  
からお年始の挨拶が届きました



## ○お知らせ○

次回の例会は2月3日です。定例理事会・  
被選理事会ございます。  
宜しくお願ひ致します。

## ○豊中ロータリークラブ新年互礼会○

2026年1月10日（土）18:00～  
於：千里阪急ホテル

（新年互例会の御礼）

皆様のおかげで、賑やかで楽しい新年互例会を行うことができました。また、多くのお客様にも参加して頂きました。

本当にありがとうございました。



2025-26年度会長 松本 悟



幹事：藤田充男 SAA:米田眞



会長 松本 悟



会長エレクト：武枝敏之



中藤様



エムレさん



乾杯はやっぱり  
木村名誉会員



バストラ・  
スミタさん



田中様



町田様



張さん



ママヒット  
さん



パクさん



ピアノ  
大西のり子様



南出様



船山様



岡本様



畑田会員のご家族

### 豊中 RC 会員参加者

豊島、村司、米田、矢野、矢口、横田、  
武枝、眞下、志水、宮田、岩本、田畑、  
松本、藤田、古澤、矢吹各会員

以上 16 名



締めはやっぱり矢口副会長



「観測から見えてきた惑星の多様性」

大阪大学大学院理学研究科 近藤忠

我々が住む地球は唯一無二なのか？ 似たような惑星はあるのか？ 他の惑星にも住めるのか？ 地球との違いは何か？ こういった素朴な疑問に対する答えは、他天体近傍に行けなかった長い時代を経て、現在、世界各国で進んでいる惑星探査計画から得られつつある。これまでにも天体近くを探査機で通過して高解像度撮影すると、仰天するような発見は多数あったが、現代の探査機は天体表面に「着陸」して、肉眼レベルの観察を行い、そこにある物質を化学分析し、深部構造や歴史まで明らかにしようとしている。地球の内部構造は、全天体中で最もよく調べられている例であるが、その主たる手法は地震波を用いた音波探査である。地震波は地下の物性変化に応じて曲がり、境界で屈折・反射し、最終的に地表に戻って来る波の到達時間から地下構造を逆算している。地震波解析によって地下には層構造があり、岩石圏の下に膨大な液体金属の領域や、更に中心には固体金属があると推定できている。地球以外の天体で地震波構造が調べられたのは、NASAのアポロ計画である。月面に設置された数台の地震計は月にも地震（月震）があることを発見し、そこから得られたデータから層構造があることがわかつっていたものの、2010年代にデータの再解析が行われた結果、月の内部には液体金属があるとの理解になってきた。我々が次に居住地として想定できるのは火星であり、火星付近を目指す探査機も繽々と打上げられている。特にNASAの着陸機キュリオシティの火星表面に水が存在したことを示す詳細な映像は、死んで乾いた火星観を一変させた。また、地下構造を地震波観測するNASAの着陸機インサイトが計測した火星の地震（火震）からは、火星深部にも分溶融部分や高温の液体金属核があることを想定させるデータが得られた。更に太陽から遠くにある大型ガス天体である木星や土星、及び衛星にも探査機は次々と向かっている。木星の複雑な対流構造、土星内部で振動する核、木星や土星の周りを回る多くの氷衛星内部に閉じ込められた液体水（内部海）の存在、太陽系の果てにある冥王星の多様な表面構造と内部海の存在など、近年の探査機が見せてくれた惑星や衛星は、太陽系形成から46億年ほど経過した現在にあって、太陽から遠く離れた惑星や衛星が、活発でダイナミックな活動を有していることを印象付け、我々の太陽系に関する知識を書き換えている最中である。太陽の寿命は残り50億年ほどと言われているものの、それ以前に地球表層の環境変化は人類が適応できる対応よりも速そうである。この先に待つ宇宙時代に向けて、我々はいつか地球外での居住を真面目に考えなくてはならない時が来ると考えている。火星表面は大気圧が地球より二桁くらい低く、気温もマイナス50°C程と快適ではない。それでも、ほぼ真空で重力も低い月に比べれば随分マシである。太陽系以外にも惑星を有する恒星は多数発見されており、発見された惑星の数は6000を超えており、その中には、地球の表層環境にかなり近いと考えられる天体が70以上あり、もちろんすぐに行ける場所には無いが、火星表層環境よりも遥かに人類が住みやすい環境に思える。とは言え、まずは宇宙進出の起点としての月開発が、今後は官民のレベルで進むであろう。日本の大学や民間の宇宙開発機関も月に向けた多くの研究を続けている。大阪大学では、2025年5月に産業科学研究所を中心として「月面都市開発研究センター」が設置された。持続可能な人類の将来を願って、次世代に向けた宇宙生活時代への備えを少しでも進めておければと思っている。